

再評価結果（令和3年度事業継続箇所）

担当課：道路局環境安全・防災課

担当課長名：荒瀬 美和

事業名	高規格ICアクセス 一般県道 徳島津田インター線（津田②工区）	事業区分	地方道	事業主体	徳島県					
起終点	白：徳島県徳島市津田海岸町 至：徳島県徳島市津田海岸町	延長	1.1km							
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ■ 本事業は、四国横断自動車道と連結する「徳島津田IC（地域活性化IC）」のランプ部を整備するとともに、ICアクセス道路となる既存道路を改良するものである。 ■ 徳島津田インター線は、四国横断自動車道と徳島小松島線を連結する路線である。 当該区間の整備により、木材団地として整備された「重要港湾 徳島小松島港（津田地区）」の活性化を支援し、当該地周辺に新たな産業・流通拠点を創出させるなど、ストック効果の最大化、緊急輸送道路の強化等が図られる。 									
R2年度事業化		用地未着手		工事未着手						
全体事業費	約 62 億円	事業進捗率	約9%	供用済延長	- km					
計画交通量	3,100台/日									
費用対効果分析結果	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">B/C (事業全体) 1.2</td> <td style="width: 50%;">総費用 (残事業)/事業全体 43 / 48 億円</td> </tr> <tr> <td>(残事業) 1.4</td> <td>事業費：42 / 47 億円 維持管理費：0.22/0.22億円</td> </tr> </table>	B/C (事業全体) 1.2	総費用 (残事業)/事業全体 43 / 48 億円	(残事業) 1.4	事業費：42 / 47 億円 維持管理費：0.22/0.22億円	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">総便益 (残事業)/事業全体 58 / 58億円</td> <td style="width: 50%;">基準年 令和2年</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> (走行時間短縮便益：45/45 億円) (走行経費減少便益：11/11 億円) (交通事故減少便益：2.3/2.3 億円) </td> </tr> </table>	総便益 (残事業)/事業全体 58 / 58億円	基準年 令和2年	(走行時間短縮便益：45/45 億円) (走行経費減少便益：11/11 億円) (交通事故減少便益：2.3/2.3 億円)	
B/C (事業全体) 1.2	総費用 (残事業)/事業全体 43 / 48 億円									
(残事業) 1.4	事業費：42 / 47 億円 維持管理費：0.22/0.22億円									
総便益 (残事業)/事業全体 58 / 58億円	基準年 令和2年									
(走行時間短縮便益：45/45 億円) (走行経費減少便益：11/11 億円) (交通事故減少便益：2.3/2.3 億円)										
感度分析の結果	【事業全体】 交通量：B/C=1.1~1.3(交通量±10%) 事業費：B/C=1.1~1.4(事業費±10%) 事業期間：B/C=1.2~1.3(事業期間±1年)	【残事業】 交通量：B/C=1.2~1.5(交通量±10%) 事業費：B/C=1.2~1.5(事業費±10%) 事業期間：B/C=1.3~1.4(事業期間±1年)								
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域活性化：「徳島小松島港津田地区活性化計画」に基づく、「複合型先進拠点」の整備効果を徳島県内全域に波及することが期待される。 ■ 物流支援：スマート林業プロジェクトの展開による県産材の生産・消費量の倍増を目指しており、県南地域から津田木材団地への木材集積機能の強化が期待できる。 また、津田地区と県南地域及び徳島小松島港赤石地区とのアクセス向上による物流機能の強化・効率化が期待できる。 ■ 防災力の向上：大規模津波避難時のリダンダンシー確保及び地域防災力の向上が期待できる。 ■ 救急医療活動の支援：救急医療施設への迅速な緊急搬送や初期医療に繋がり、救命率の向上及び定時性の確保に期待できる。 ■ 緊急輸送道路の強化：第一次緊急輸送道路である「四国横断自動車道」と第二次緊急輸送道路である「徳島環状線」を補完し、両路線の災害対応機能の強化が期待される。 									
関係する地方公共団体等の意見	<ul style="list-style-type: none"> ■ 徳島市、津田コミュニティ協議会、津田木材団地連合会等より、「津田地区における追加IC設置にともなう整備促進」が要望されている。 									
事業評価監視委員会の意見	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業継続を妥当と認める。 									
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	<ul style="list-style-type: none"> ■ 変化なし 									
事業の進捗状況、残事業の内容等	<ul style="list-style-type: none"> ■ 用地進捗率0%、事業進捗率約9% 									
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	<ul style="list-style-type: none"> ■ 徳島津田IC～徳島沖洲ICの令和2年度供用(公表)後、小松島IC(仮称)～徳島津田ICの供用との同時供用に向けランプ部の橋梁工事等を推進していく。 									
施設の構造や工法の変更等	<ul style="list-style-type: none"> ■ 橋台背面の構造を再検討し、コスト縮減に努める。 									

対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

■ 事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。